

初めての女川

石巻には震災後3度行ったが、女川までは足を伸ばせなかった。長らくJR石巻線が止まっており、復旧後も時間がとれなかった。今回は思い切って石巻から女川まで行き、駆け足で駅周辺の「まち歩き」を敢行した。

映像で見た「万石浦湾」を眺めながら、山裾を進むと女川駅に着いた。しゃれた駅舎2階から女川湾を一望できる。この女川湾から巨大津波が押し寄せ、街一帯をとことん破壊した。映像や写真で何回も見てきたが、こうして女川の街並みを眺めると、巨大津波の恐ろしさが実感できる。津波の高さは16メートルを超え、被害は町の約8割に及んだ。



石巻で乗ったタクシー運転手も、震災後の女川は「地獄のようだった」と語っていた。

駅からすこし歩くと「シーパルピア女川」。飲食店など商業施設27店舗が並んでいた。まだ早いので、开店前のようだったが、休日には賑わっているのだろうか。海岸まで行きたかったが、まだ工事中。津波で流された交番が、当時のまま残されていた。

にぎわい交流拠点「女川町まちなか交流館」に行った。ロビーには震災復興の展示コーナーがあり、それを眺めながら写真に撮った。女川の地形による特有の震災被害、復興まちづくりの一端を知ることができた。

駅の方に戻ると「女川町地域医療センター」が見えてきた。高台にあるが、2階近くまで津波が押し寄せたという。「女川は流されたのではない。新しい女川に生まれ変わるんだ」という垂れ幕が印象的だった。山の方を見ると、かさ上げ工事が行われていた。町役場と小中学校の整備も進められていた。まだまだ復興工事、新たなまちづくりが進行中の女川である。

今回、駆け足ながら震災から8年目に女川を訪れて、初めて知ったことも多かった。郡山から福島、そして石巻、女川へと続いた「旅」を終えて大阪に向かう。



震災

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、女川町に甚大な被害をもたらしました。災害廃棄物量は推定44万4000トン、これは町内の通常廃棄量の約115年分に及びました。

■地震・津波の概要

- 発 生 日 時：平成23年3月11日 14時46分頃
- 震 幅・震 度：M9.0 震度6弱
- 津波被害の概要
 - 最大津波高：14.8m（津波初期観測所外推定値）
 - 津波到達：320m（国土交通省観測所外推定値）
 - 被害区域：240ha（区域境界推定値）
- 耐 入 口：10,014名（23.311勝点）
- 死 亡 数：574名（27.511勝点）
- 死 亡 推 定 数：253名（震源の方向不明で死亡推定された数）
- 地 震 損 害 数
 - 総額：4.411億
 - 全壊：2,024棟（0.63%）
 - 大規模半壊：1,493棟（3.3%）
 - 半壊：200棟（4.6%）
 - 一部倒壊：164棟（1.5.0%）
 - 倒壊状況：最大25ヶ所
 - 二次被害：約23.311勝点
- 二次被害：約236名



(2018年8月3日)